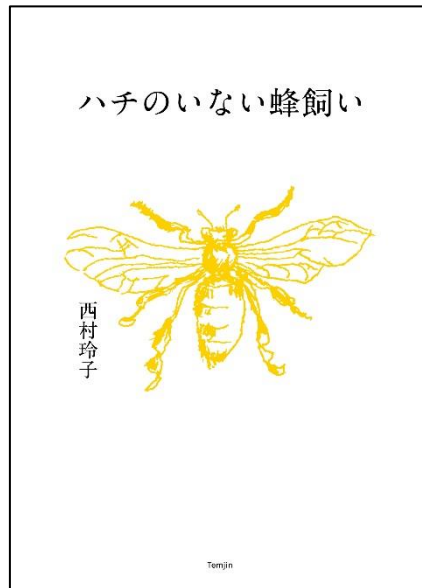


各 位

2022年7月19日
株式会社天夢人

「この人を待っていた。」―養老孟司―(帯文)。
透明感のある文章に魂が洗われる日本版「センス・オブ・ワンダー」誕生！
蜂をめぐる自然と郷土の暮らしの物語。『ハチのいない蜂飼い』刊行！

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年7月20日に、『ハチのいない蜂飼い』(西村玲子・著)を刊行いたします。



透明感のある文章に魂が洗われる日本版「センス・オブ・ワンダー」誕生！

「この人を待っていた。」―養老孟司―(帯文より)

かつてレイチェル・カーソンが「沈黙の春」を予言した。2019年、ミツバチのいない養蜂家になった著者が、ニホンミツバチとの暮らしを軸に、自然と寄り添うべき暮らしの姿を、みずからの体験を通して模索する。郷土の芸能、季節の営みなども織り交ぜた春夏秋冬をめぐる物語的エッセイ。小さな生きものたちとの暮らしを通じて得た「わたしは何も知らない」とは。蜂をめぐる自然と郷土の暮らしの物語。養老孟司氏との対談を収録。



希望と旅立ちの春

厳しい寒さがだんだんと和らいで、降る雪が湿り気を帯びる頃、郡上は三月を迎えます。雪は雨へと徐々に変わって、冬の白い世界から新しい命が芽吹く季節がやってきました。雪解けを待つて山へ入ると、いつもおとなしい小川には雪解け水がどっと流れ、若々しく生氣あふれるその姿から、春を待ちわびた山の喜びを感じます。ふきのとうが顔を出し、凍っていた大地がゆっくりにゆっくりに潤い始めるこの山里は、二月の終わり頃になってようやく梅が笑い始めます。小さな虫たちが動き出すのを感じてから、早いと四月の真ん中あたり頃、桜の花の蜜は、冬越えをしたミツバチたちに栄養と活気を与えて、巣箱全体に生氣が強くなって来るのを感じます。そして、いよいよ！私が一年で一番楽しみにしている分蜂の季節の到来です。その頃のニホンミツバチたちは分蜂に向かって巣箱の中で盛んに蠢いており、その様子は山中で見える小川を流れる雪解け水の力強さと似ています。分蜂とは、古い女王が新女王に巣を譲り、巣の中の約半数の働き蜂とともに、新たな巣となる場所を求めて旅立つことをいいます。私はその、旅に出たミツバチたちに気に入ってもらえるような巣箱を用意します。ミツロウを塗って、焼き色をつけて、森の中で樹木のウロを見つけたところでも思ってもらおう。



な巣盤の上部が現れます。ミツバチが上がってこないように、うちわで風を送ったり、またはミツバチが嫌がる煙を使ったりしながら、次は一番上の巣箱と上から二段目の巣箱との境目を、同じようにお手製の道具を使って切り込んでいきます。かなり力を入れないと巣盤を切り離すことができないので、遠くからその様子を見たら、私が巣箱に抱きついていてるみたいに見えるかもしれません。

採蜜のとき、こうして上部巣箱を取り外してしましますが、新たに一番上となった二段目の天井に天板をのせてネジで留めて蓋をすれば、巣箱は一段低くなりミツバチたちはそのままその巣箱で暮らすことができます。

蜜を取り出すときは、取り外した巣箱からベテナイフを使って、たっぷり蜜の入った巣盤を外していきます。大きなボウルにザルを置いてさらしを敷いておき、その中に採った巣盤を入れてナイフで細かく切り刻みます。二〜三日そのままにして自然に垂れてきた蜂蜜をビン詰めにするか、大きな入れ物に貯蔵します。

元気のよい蜂群が採ってきたニホンミツバチの蜂蜜は、フルーツのようなやさしい味がします。

目次

ニホンミツバチの世界

春 厳しい越冬／希望と旅立ちの春／ニホンミツバチが気に入る物件作りと分蜂／ノア

夏 夏のミツバチ／夏の郡上／美しいワサビ田のお話／お米づくりと昆虫の暮らし／年に一度の採蜜／ミツバチの優れた集団防衛／天敵／へぼ獲りの話／ニホンミツバチとの出会い／それぞれの暮らし、生きる姿

秋・冬 台風／白鳥神社のお祭り／晩秋のコケ採り／冬のしろとり

再び、春 ノアとの別れ／それでも春は来る

セイヨウミツバチとニホンミツバチ

バイオフィリア対談 養老孟司×西村玲子 自然の力を得て生きる
養老先生へ

著者プロフィール

西村玲子 にしむら・れいこ

1999年から郡上市白鳥町で小さな洋菓子店を共同経営。2007年よりニホンミツバチとの暮らしを始め、商品の背景、ストーリーを大切に商品作りに取り組む。2016年、自然と寄り添う暮らしを模索するブランド「シシ七十二候」スタート。白鳥町に暮らし、冬期湛水によるお米作りなど、小さな生き物や土壌細菌、植物プランクトンなどの力による農業を試行錯誤しながら、主にその恵みを使った商品をウェブショップなどで展開。2020年『Biophilia, No.0 / バイオフィリア第0侯』（私家版）を著す。

シシ七十二候 <https://www.shi-shi.jp>

【書誌情報】

書名：ハチのいない蜂飼い

仕様：四六判変型(178 mm×128 mm)・ソフトカバー

定価：1980 円(税込み)

発売日：2022年7月20日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3sHaecX>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:勝峰

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>